

1月6日(金) 泗水太鼓の共鳴祭

旧泗水町の若者たちが中心となり、和太鼓打ちで有名な今福ゆうさんをメイン奏者に迎えて、無料コンサートがありました。

会場の菊池市泗水ホールでは、400席の客席が満員となり、奏者の発する気合と太鼓の振動が会場を包みこみ、観客と奏者が一体となって、大いに盛り上がりました。

約30人の大会スタッフも、司会や受付、駐車場係などそれぞれの役割を一生懸命頑張っていました。

実行委員の宮上さんは「来場された皆さんから暖かい言葉をかけていただき、出演者も実行委員も感激しました。これからは、小さなボランティア活動しながら、この共鳴祭を続けていき地域のため頑張りたいです。」とイベントの成功を喜んでいました。

今福ゆうさん(右)をメイン奏者に迎えて行った無料コンサート



水源林業研究グループが 国土緑化推進機構理事長賞を受賞

平成17年度全国育樹活動コンクールで、水源林業研究グループ(会長武藤規尋さん)が国土緑化推進機構理事長賞を受賞しました。

全国育樹活動コンクールとは、育樹に関する技術を地域に導入、実践して効果を上げた者、地域の育樹活動の普及などに著しい効果を上げた者を表彰するもので、国土緑化推進機構理事長賞は全国で7団体が表彰されます。

今後、森林整備をはじめ地域づくりのリーダーとして、水源林業研究グループの皆さんの活動が期待されます。

受賞を喜ぶ水源林業研究グループの皆さん



1月7日(土) 菊池市サッカー協会美化作業

七城グラウンドなどの美化作業を行った菊池市サッカー協会のメンバー



菊池市サッカー協会のメンバーが、七城グラウンドや七城運動公園サッカー場、鴨川河畔公園周辺の美化作業を行いました。

これは、子どもたちに対してサッカーを学ぶことだけでなく、ボランティア活動をとおして、ひとつづくりを学んでもらうことを目的に行われたものです。

作業は午前8時から始められ、1時間後には大量の空き缶やごみが集まりました。その後、各会場に分かれて、子どもたちは、初蹴りを行いました。

1月5日(木) 穴川夜神楽

菊池の穴川菅原神社で、菊池市の無形民俗文化財にも指定されている夜神楽があり、地元の穴川区民など大勢の人で賑わいました。毎年この日に合わせて行なわれているもので、地元保存会のメンバー18人によって「榊の舞」や「二剣の舞」など11座が次々と舞われました。

祭りのメインともいえる「鬼神の舞」で、鬼の面をかぶった鬼神役の舞手が長さ約2メートルの太い青竹を持ちながらゆっくりと舞うと、迫力あるその姿に詰め掛けた観客からは大きな歓声があがりました。

祭りの終盤、その青竹の先に付けられた御幣を取ると1年間の無病息災が約束されるとあって、観客は競って手に入れようと次々と鬼神に向かっていきました。ところが、鬼神も簡単には取られまいと、取りに来る観客を青竹を振り回しながら払いのけ、鬼神と観客との御幣の奪い合いが繰り広げられました。

運良く御幣を手に入れた大津町から来た岩原功貴くん(6歳)は「ちょっと鬼さんが怖かったけど、とれて良かったです。入院しているおじいちゃんが早く治るように、このお守りを明日持って行ってあげます」と話してくれました。



「鬼神の舞」で、御幣を先に付けた長さ約2メートルの太い青竹を持って舞う鬼神役の舞手

12月27日(火) 旭志地区で餅つきのボランティア

旭志のあさひが丘荘(特別養護老人ホーム)で、旭志地区の青年団とあさひっ子ほたる隊(旭志小学生)による、餅つきのボランティアが行われました。

餅つきは、石臼ときねを使った昔ながらの方法で行われ、青年団がついた餅をほたる隊と入所者が一緒に丸め、あさひが丘荘に入所中の皆さんに振るまいました。



石臼ときねを使った昔ながらの方法で行われた餅つき

1月1日(元旦) 第34回旭志元旦マラソン大会

旭志総合支所前を一言にスタートする選手たち



旭志総合支所をスタート・ゴールに、菊池市体育指導委員旭志支部主催による旭志元旦マラソン大会がありました。

コースは3キロと7キロの2コースで、旭志の小・中学生を中心に参加した216人は、1年の健康と繁栄を祈願し、元気に走り初めを楽しみました。上位の入賞者は次のとおりです。(敬称略)

3キロコース

- 優勝 上野博満(旭志小4年)
- 2位 志水駿太(旭志小4年)
- 3位 池田頌太(旭志小5年)
- 女子優勝 大塚 雅(旭志中2年)

7キロコース

- 優勝 川口真二(熊本市)
- 2位 松岡博文(菊陽町)
- 3位 三木正昭(菊池市)
- 女子優勝 岡村幸子(菊池市)

1月1日(元旦) 上住吉区新春グラウンドゴルフ大会

元旦に集まり、グラウンドゴルフを楽しむ参加者



泗水町の上住吉農村公園で新春グラウンドゴルフ大会があり、お年寄りなどの地元区民が参加しました。

「1年のなかで元日のこの日が、みんなの時間が一番取れるから」と毎年この日に行なわれているもので、同区の老人会、年金クラブ、女性の会、ひまわり会の4つのグループ合同で大会がありました。

開会式で、森 俊二会長が「合併してからは初めての大会です。お互いの融和と健康のために、そして、オリンピック選手などの若者に負けないように頑張ってください」とあいさつ。正月のお神酒あげを参加者全員で行い、早速プレイを楽しみました。

中には「さっきのお神酒で力が抜けて、いつもより調子のよかばい」とほろ酔い気分で楽しむ人や、ホールインワンを決めて喜ぶ人もいて、参加者はそれぞれの交流の輪を広げました。

1月6日(金) 第8回 新春子ども囲碁・将棋大会

新春子ども囲碁・将棋大会が、菊池市旭志多目的研修センターであり、菊池市内から32人の小・中学生が参加して、大人顔負けの白熱した試合が展開されました。

試合は、囲碁7人、将棋31人(一部重複)のトーナメント方式で行われました。また、普及も兼ねて敗者戦も行われ、子どもたちは、囲碁と将棋の楽しさを満喫しました。

上位の入賞者は、次のとおりです。(敬称略)

囲碁の部

- 優勝 村上春樹(旭志中)
- 準優勝 村上和貴(旭志中)
- 3位 甲斐健志郎(旭志中)

将棋の部

- 優勝 古田 潤(菊池北中)
- 準優勝 中村進牙(旭志中)
- 3位 渡辺大寿(泗水東小)



地域の人が見守る中、囲碁(左)と将棋(下)の試合に挑む参加者たち

